

ねん がつ
2013年6月

たいけんがくしゅうしつ
体験学習室 No.6

けんぱくものしりシート

よろい 鎧



よろい たたか からだ まも ぶぐ
鎧は、戦いのときに体を守るための武具です。

たいけんがくしゅうしつ よろい えどじだい
体験学習室にある3つの鎧は、江戸時代につくられた

とうせいぐそく さんこう
当世具足といわれるものを参考にしています。

せんごくじだい とうじょう とうせいぐそく
戦国時代に登場した当世具足はそれまでの

でんとうき よろい かいりょう
伝統的な鎧を改良したものです。

かたな やり や
また、刀や槍、矢、

てっぽう み
鉄砲からしっかり身を

まも てつ つか
守るために鉄が使われ、

うで まも こて あし
腕を守る籠手や足を

まも はいだて すねあて
守る佩楯・臙当など、

ぜんしん
全身をおおう

ぼうぐ
ための防具が

ついています。



とうせいぐそく かぶ なまえ
当世具足の各部の名前





それでは、よろい じゅんぽん 鎧をつける順番をみてみましょう！

すねあて
1. 臑当を
あし
足につけます。

はいだて
2. 佩楯を
こし
腰につけます。

こて
3. 籠手を
うで
腕につけます。

わき した
脇の下で
むす
結ぶ
ひも

てくび
手首に
まいて
むす
結ぶひも

よろい
4. 鎧をつけ、
うわおび
上帯をしめます。

やじるし かしょ
矢印の3ヶ所を
はずしてつきます。

そで
5. 袖を
つけます。

めんぼお
6. 面頬を
かお あ
顔に当てます。

かぶと
7. 兜をつけます。

かんせい
完成！

おも
重さは
やく
約14kg!

※体験学習室では、4. 鎧と7. 兜をつけることができます。装着したら、刀を持ってポーズ！
ぶし きも
武士の気持ちができるかな？

参考にした本 『函解日本甲冑事典』 笹間良彦 1988年 / 『鎧と兜』 山上八郎・山岸素夫 1975年 / 『郷土の甲冑と刀展』 岩手県立博物館 1981年 他

らいげつ がつ
来月(7月)の
けんぱくものしりシートは
ちしつ
地質-7だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/